

甲陽園駅から歩いてくるとはじめに目につくこの部屋。
 ここではシェアハウスの集会や仕事などの会議が行われる。
 夜になると隣の部屋に住むおじいちゃんがBarを開きみんなのたまり場となる。
 人目に付き、外部に対して開く事も閉じる事も出来るこの場所が、まちとシェアハウスをつなぐ。

樹を取り払い農園をつくる。
 以前までの閉ざされた空間から、積極的にまちに関わる場所になっていく。
 隣の部屋に住むおばあちゃんがきっかけで始めた農園。今では通りすがりからもアドバイスをもらうように。
 10月にはその人たちが招いて収穫祭を開催。
 シェアがつなぐ人の輪。

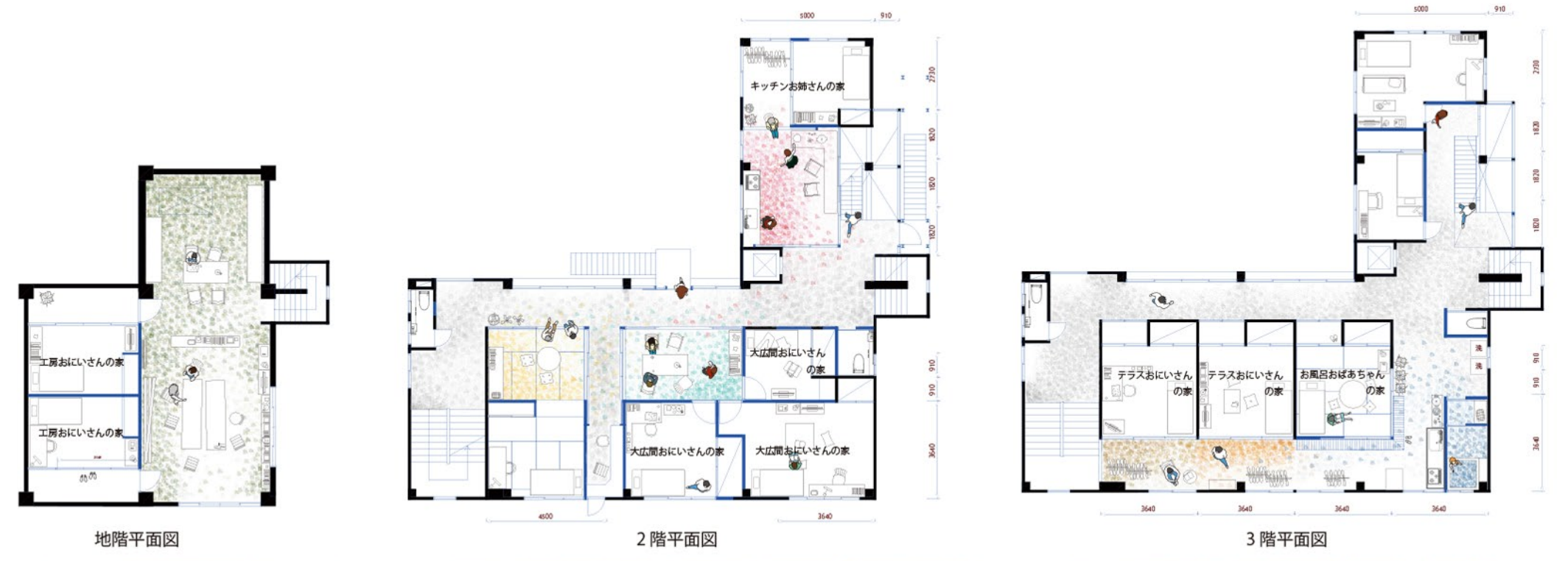
この場所は、住人達の駐車場・駐輪場として使われる。
 まだ車を持っているがなかなか使わない老人が、何人かの学生達を誘ってカーシェアを始めた。そのうわさは近所へと広がり、シェアハウス内を越えたカーシェアになった。
 シェアハウスから生まれ、まちへと広がっていくシェアのかたち。

北面の採光を確保するにつくった吹き抜けがシェアの空間を立体的につないでいる。
 そこでは日々重層的にシェアが生まれ、さまざまな関わりを生み出している。

周辺住人が1階だけでなく2階にも気軽にいけるように外部階段を設ける。
 そのおかげで近所のママさんが2階の広間をシェアしてお茶会を開くようになった。

シェアハウスだからといって閉ざされた場所にするのではなく、
 4階のまちともシェアを繋いでいく為に、平面的な抜けをつくる。

配置図兼1階平面図 1/100



地階平面図

2階平面図

3階平面図



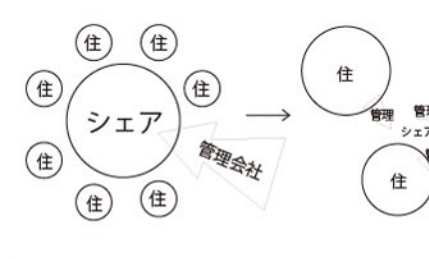
東立面図

A-A' 断面図

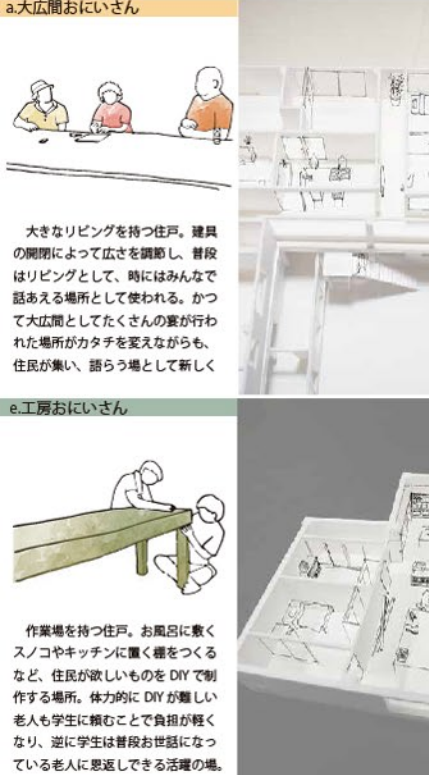
借り暮らしのシェアハウス -ゆるくつながる長屋的な暮らし-

0. ゆるくつながるシェアのかたち

これまでのシェアハウスでは、建物の中心部に共用部屋がおかれ、この場所を介して人はつながっていた。
 しかし誰のものでもないあいまな場所であることが、管理も管理会社任せだが、どこか非日常的な違和感を感じさせる。



4. ゆかいな管理人たち



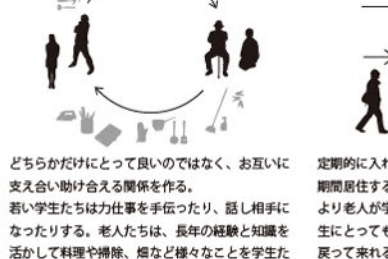
1. 借り暮らし

「長屋」での相互扶助的な暮らし。それぞれの部屋の開け閉まりに変化を持たせ、足りないものは借りながら生活する。かつての長屋での、井戸端会議や調味料の貸し借り、子供や老人の世話を一緒にしたりとお互いに支え合う暮らし。日常的な他世代での交流が、持続的な関係をつくり出す。



2. 学生 × 老人 -多世代交流の起点-

甲陽園は兵庫県西宮市にある高級住宅地。高い壁や生け垣に取り囲まれた住宅が立ち並び人付き合いが希薄なように思われる。そこで提案するシェアハウスには老人に住んでもらう特長を活かしながら場所の管理をしてもらう。お風呂が好きなおばあちゃんは「お風呂おばあちゃん」に、Barを開きたいおじいちゃんには「バーおじいちゃん」に、など。シェアハウス内で生まれた交流は周辺のまちの人たちも巻き込み、甲陽園の新たな文化をつくる。



3. リノベーション - 既存を読み取ったゾーニング -

完全にすべてを新しくするのではなく、使えるものは使いながら改修を進めていく。古い柱や梁と新しい壁や建具が混ざり合い、様々な時間を内包した建築に。



a. 大広間おにいさん

大きなリビングを持つ住戸。建具の調子によって広さを調節し、階段はリビングとして、時にはみんなで居る場所として使われる。かつて大広間として使われていた場所がカタチを変えながら、住民が思い、語り場として新しく

b. キッチンおねえさん

中庭に面したキッチンを持つ住戸。一人で使うには少し大きいキッチンには住民が集まり、キッチンおねえさんが夕食を振る舞うことも。また、建具を調子する事でキッチンスペースの大きさも変えられる。大人気で食卓を囲む事も出来る。

c. お風呂おばあちゃん

甲陽園の街並みを一望できるお風呂を持つ住戸。お風呂上がりに住戸から伸びる縁側に腰を掛け、おばあちゃんとのひとときを話しながらゆっくり休める。お風呂前の土間は廊下とテラスを繋ぐように繋ぎ、遠くに住むおじいちゃんとの交流も促すことできる。

d. テラスおにいさん

南側からの心地よい日差しが差し込むテラスを持つ住戸。住戸面積の約4分の1を占めるテラスには、住民がギターを弾いたり、ひなたぼっこしながら本を読むなど、生活感が溢れ出す。雨の日には他の住民たちの洗濯物を干す場所としても活用される。

e. 工房おにいさん

作業場を持つ住戸。お風呂に続くスノコやキッチンを置くなど、住居が欲しいものをDIYで作る場所。身体的にDYが難しい老人も学生に頼むことで負担が軽くなり、逆に学生は習得が楽しくなっている老人に教えることができる活躍の場。

f. お風呂おばあちゃん

大きめのお風呂とシャワー室2つを持つ住戸。お風呂前の広さを活用して大きめのお風呂では自炊に足る伸びた一日の疲れを癒す。お風呂おばあちゃんの家の縁側からは中庭と裏庭を見渡す事ができ、風呂あがりには一つと外を眺めながら休む。

g. バーおじいちゃん

エントランスまわりバーを持つ住戸。お風呂前には自炊に足る伸びた一日の疲れを癒す。お風呂おばあちゃんの家の縁側からは中庭と裏庭を見渡す事ができ、風呂あがりには一つと外を眺めながら休む。

h. 庭おばあちゃん

中庭と裏庭に面した住戸。中庭はみんなで野菜を育てる共同菜園として、裏庭はおばあちゃんの花壇ガーデンとして様々な緑が育てられ、彩られる。庭に面して住戸があることで容易に庭へアクセスすることができ、庭が住戸の延長として活用される。